

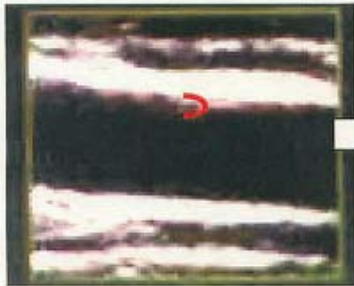
資料7

動脈硬化による変化

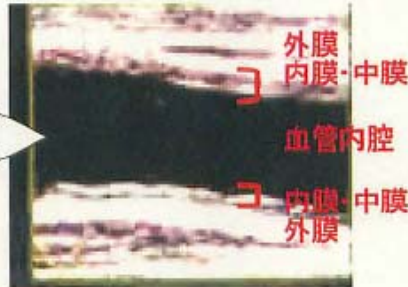
- ・内中膜複合体の肥厚度(IMT)
- ・プラークの数、大きさ、質

をみます

正常な血管



内中膜が肥厚した血管



年齢基準値(肥厚)

20代	0.7mm
30代	0.8mm
40代	0.9mm
50代	1.0mm
60代	1.1mm
70代以上	1.2mm

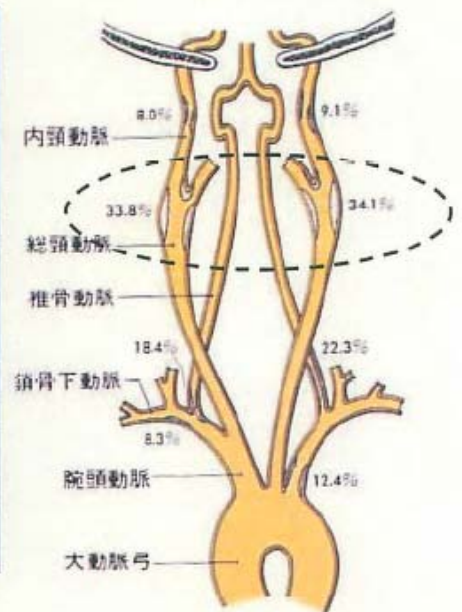


血管の内腔が凹凸なく滑らかな正常な状態



内膜内にコレステロールなどを取り込み膨らみプラークを形成
このプラークは破れやすく、血流で飛ばされ血栓となる可能性あり

狭窄が起こりやすい頸動脈の分岐部



動脈硬化の改善は可能か

血管の動脈硬化をすすめる因子である健診データの改善をすることで、プラークの大きさが明らかに縮小され、破れやすいプラークが硬く固定(退縮)される。



血液の流れる部位が狭くなった状態

